2026 年 11 月 25 日
『ゴリラクリニック』（03-5291-5270　広報部）

■【針脱毛（ニードル脱毛）】導入エリアを東名阪の“三大都市圏”へ拡大

2026 年 12 月 1 日（火）より「大阪梅田院」で提供開始

◎「医療脱毛の仕上げに」白毛や産毛、硬毛化にも ／ 15～59 歳男性 450 名へ【脱毛の意識調査】実施

全国 23 院展開する男性専門の総合美容医療「ゴリラクリニック」（医療法人社団十二会／本部：東京都新宿区、総院長：稲見文彦、以下「当院」）では、2026 年 12 月 1 日（火）より【大阪梅田院】で「針脱毛（ニードル脱毛・絶縁針脱毛）」を導入、予約・提供を開始いたします。





「針脱毛（※）」は、毛穴に細い針を挿入し微弱な電流を流すことで、その熱により毛を生やす毛包幹細胞を根本から破壊する医療脱毛方法です。（※保険適用外の自由診療。詳細は別途記載）

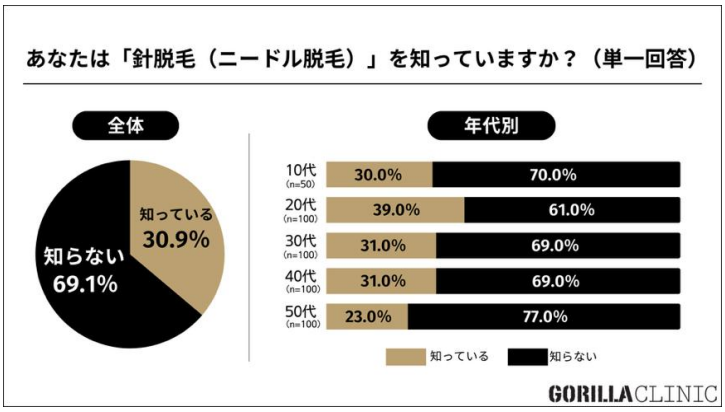
医療レーザー脱毛のようなメラニンに反応する脱毛方法とは異なり、「針脱毛」では毛乳頭・毛包を直接破壊するので**「白い毛（白髪）」や「産毛」、眉周りなどの細かい部分、増毛・硬毛化してしまった部位、日焼けや色素沈着の部位などへのアプローチが可能。**
医療レーザー脱毛で広範囲の毛量を減らした後、**「医療脱毛の仕上げ」**として針脱毛を希望される患者さまが多くいらっしゃいます。



2024 年 6 月、銀座エリアで導入してから 2 年半。現在は新宿本院をはじめ上野院・銀座 ANNEX 院・東銀座院の「関東エリア」とあわせ、今秋には「名古屋栄院」での提供をスタートいたしました。
そして**今回、大阪梅田院へ新たに導入することで【東名阪（東京・名古屋・大阪）の三大主要都市】において「針脱毛」の提供が可能**になりました。
ゴリラクリニックでは「男性美容を文化に」という使命のもと、多様化する男性の美容ニーズに応えるべく、今後も高品質なサービスの提供に向けて邁進してまいります。

2026 年 11 月 25 日
『ゴリラクリニック』（03-5291-5270　広報部）

■【年代別】「脱毛」に関する意識調査を実施



「男が美容なんて」という時代から大きく変化し、今では男性が当たり前に美容やスキンケアに取り組む時代になりました。なかでも男性需要が顕著な「脱毛」においては、コロナ禍を機に一気に普及が進み、当時から施術を始めた方の多くがすでに一定の脱毛を終えています。
その一方で、従来の医療レーザー脱毛やエステ脱毛では「どうしても残ってしまった毛」や「白髪化してレーザーが反応しなくなった毛」への対処法に直面する男性が今も多く存在しているのも現状です。
こうした男性による細やかなニーズに応えるべく、ゴリラクリニックでは**「白い毛（色素の薄い毛）」や「産毛」、目周りなどの細かい部分をはじめ、医療レーザー脱毛などで硬毛化した毛にも施術が可能な「針脱毛（ニードル脱毛）」**の提供院を順次拡大。東名阪の主要都市における提供体制を整備いたしました。

このたびの「針脱毛」提供院の拡大に伴い、当院では**15～59 歳の男性 450 名を対象に【年代別／「脱毛」に関する意識調査】を実施**いたしました。（インターネット調査）。
調査結果によると、**「脱毛と聞いて思い浮かぶもの」**としては、全年代でダントツトップ（1 位）が「医療脱毛（55.8%）」。2 位の「エステ脱毛（35.6%）」を大きく引き離す結果になりました。また、**「脱毛の経験は？」**を聞いたところ、全体の 6 割以上（63.8%）が「脱毛未経験」と回答。一方で最多回答だった 40 代は 4 割以上（43.0%）、次点の 20 代は 4 割（40.0%）が「脱毛経験者」である結果が分かりました。**「針脱毛（ニードル脱毛）を知っているか？」**の問いには、「知らない」と回答した男性は全体で 7 割（69.1%）にのぼり、男性間での浸透度は現時点でまだまだ低いことが分かりました。
なお、**リリース後半では「針脱毛の治療詳細」とあわせ、「針脱毛の需要の傾向」について、ゴリラクリニック総院長の稲見文彦医師が解説**いたします。

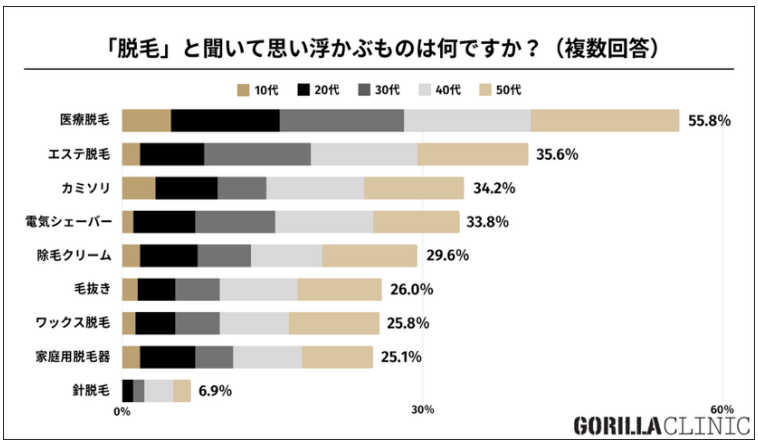
■調査名：　【年代別／「脱毛」に関する意識調査】

※当データ使用時はクレジット表記**【男性専門の総合美容医療『ゴリラクリニック』調べ】**を記載ください

・調査主：男性専門の総合美容医療「ゴリラクリニック」（医療法人社団十二会／東京都新宿区、総院長：稲見文彦）
・調査対象：15～59 歳の男性 450 名
・調査期間：2026 年 10 月 20 日の 1 日間（インターネット調査）

―――――― **各質問・詳細** ――――――

①　「脱毛＝医療脱毛」が過半数（55.8%）で定着の一方、「針脱毛」の想起率はわずか 6.9%に



◎【認知のギャップ】「医療脱毛」が主流化する一方で、「針脱毛」は認知度が低い結果に

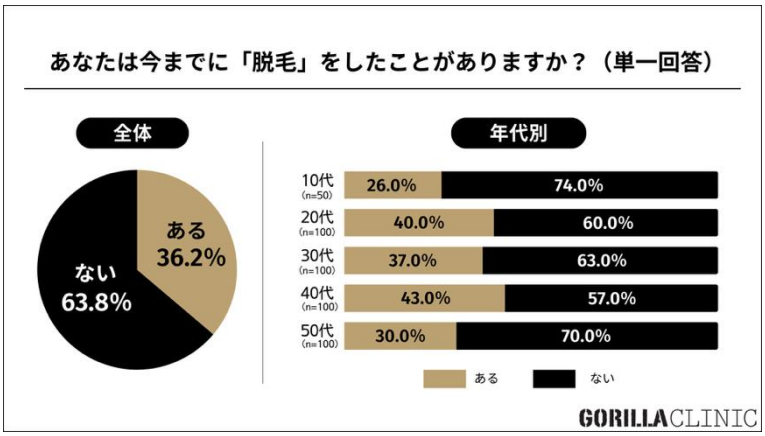
「脱毛」からの連想は「医療脱毛（55.8%）」が全年代でダントツのトップとなり、医療機関での施術が一般化している実態が判明しました。一方で、最も認識度が低かったのが「針脱毛（6.9%）」。10 代は 0%とあまり認知が普及していない現状が明らかになりました。

2026 年 11 月 25 日
『ゴリラクリニック』（03-5291-5270　広報部）

②　男性の 6 割以上が脱毛「未経験」。一方で 40 代は 43.0%が「経験あり」、全年代で最多の経験率に

◎【年代別】20 代・40 代の約 4 割が経験者であるのに対し、10 代・50 代は 7 割が「未経験」と回答

全体の 63.8%が脱毛「未経験」と回答。一方で 40 代（43.0%）と 20 代（40.0%）では約 4 割が脱毛経験を持つ結果になりました。
さらに年代別では、40 代が最も高い経験率を記録した一方、10 代（74.0%）と 50 代（70.0%）では 7 割が「経験なし」と回答し、年代間で脱毛経験に二極化が見られる実態が明らかになりました。

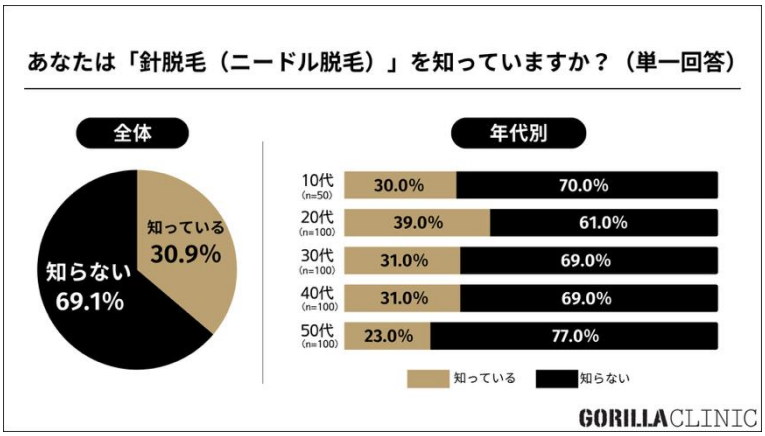


③　「針脱毛」の認知度は全体で 3 割止まり。約 7 割が「知らない」と回答

◎【年代別】20 代が約 4 割（39.0%）で最多の一方、50 代は 23.0%と 5 人に 1 人の認知度であることが判明

「針脱毛（ニードル脱毛）」の認知率は全体でわずか 30.9%にとどまり、最も知られている 20 代（39.0%）を含め、どの世代においても 6 割から 7 割以上（61.0%～77.0%）が「知らない」と回答。

医療脱毛が普及する一方で、「針脱毛」という手法そのものが年代を問わず全体的に知られておらず、潜在的な毛の悩みを解決する選択肢として世の中に浸透しきれていない現状が浮き彫りになりました。

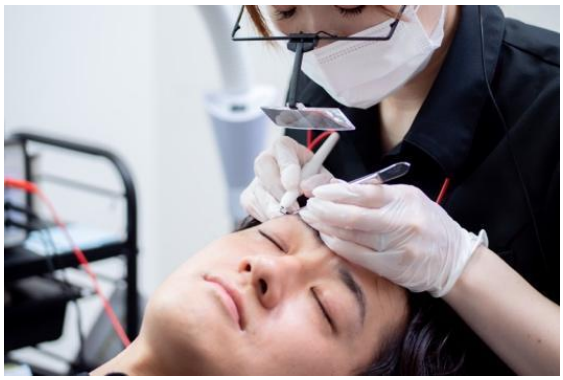


■「針脱毛（ニードル脱毛）」 治療詳細

◎針脱毛　治療詳細

針脱毛は、細い針を毛穴に挿入し、一瞬電気を流すことで毛根の細胞を破壊することで、永久脱毛を目指す治療です。
レーザー脱毛のメラニンに反応する脱毛方法と異なり、毛乳頭・毛包を直接破壊するので「白髪（色素の薄い毛）」や「産毛」、目周りなどの細かい部分をはじめ、レーザー脱毛などで硬毛化した毛にも施術が可能です。
また、デザイン脱毛を行なったヒゲや眉毛の 1 本単位の調整でも非常にニーズの高い施術です。　※保険適用外の自由診療

●価格（税込）：
1～25 本　¥25,000／26～50 本　¥44,000／51 本以降 1 本あたり ¥440
※2026 年 11 月現在　※針代込み（価格に麻酔代は含まれません）
●施術可能部位：ヒゲ・眉毛・身体（うなじ・脇・VIO を除く）
●副作用・リスク：施術後の一時的な赤み、熱感、軽度の腫れ
●治療期間（目安）：1 回（本数によって個人差があります）
●対象院：【関東エリア】銀座 ANNEX 院・新宿本院・上野院・東銀座院
　　【東海エリア】名古屋栄院
　　【関西エリア】大阪梅田院



2026 年 11 月 25 日
『ゴリラクリニック』（03-5291-5270　広報部）

■【針脱毛の需要傾向について】　ゴリラクリニック総院長 稲見文彦医師が解説

近年の脱毛施術の中心的な存在としてはレーザー脱毛が挙げられますが、レーザー脱毛の台頭前、長期的な減毛効果（いわゆる永久脱毛）を得られる方法の主流は、針脱毛（ニードル脱毛）でした。

レーザー脱毛が登場したのは 1990 年代後半、日本で普及し始めたのは 2000 年代前半。針脱毛に比べて施術時間が短く、痛みも比較的少ないことから急速に普及しました。

そんなレーザー脱毛にも弱点があります。その一つが「白い毛や金髪には十分な効果を発揮できないこと」です。レーザー脱毛の原理は、毛に含まれるメラニン色素が光エネルギーを吸収し、熱に変換されることで毛を作る組織にダメージを与え減毛を行います。そのため、メラニン色素の少ない白い毛や金髪には反応しにくく、十分な脱毛効果が得られません。また産毛への照射では、毛が太くなる「硬毛化」が生じるリスクにも注意が必要です。

こうしたレーザー脱毛の弱点を補う方法として、近年、「針脱毛」が再び注目されています。針脱毛は毛穴に針電極を挿入して毛を作る組織に直接作用するため、毛や肌の色に左右されず、白い毛や金髪にも対応できます。また、産毛の硬毛化リスクが比較的低いことも有用です。実際、白髪を理由に脱毛を諦めていたアッパーミドル世代やプレシニア世代からの相談が増えており、針脱毛の需要は確実に増していると考えられます。

ただし、針脱毛にも課題があります。1 本ずつ処置する方法であるため、レーザー脱毛に比べて時間と費用がかかります。痛みもレーザー脱毛に比べ強い傾向にあります。麻酔を使用しても一定の苦痛を伴うため、広範囲の脱毛にはあまり適していません。

これらのメリット・デメリットを加味し、まずレーザー脱毛で大部分の毛を減らし、残った白い毛や金髪などを針脱毛で仕上げるのが効率的です。両者を組み合わせることで、それぞれの弱点を補うことができます。

針脱毛とレーザー脱毛は、いずれも毛を作る組織に不可逆的な変化をもたらす医療行為です。毛嚢炎や熱傷などの合併症にも適切に対応する必要があるため、両方の施術を医療機関で提供し、継続的にフォローできる体制がベストではないでしょうか。

◎『ゴリラクリニック』総院長　稲見文彦医師 プロフィール



東邦大学医学部を卒業後、同大形成外科学教室入局。大手美容形成外科で 10 年以上、多数の研修医や新人看護師の育成に携わる。同院京都分院長を経て、2015 年男性専門の総合美容医療『ゴリラクリニック』総院長に就任、現在に至る。美容医療のみならず、医療の基本は「優しさ」と「患者さまの言葉に耳を傾けること」を理念とし、患者さまの悩みや希望と真摯に向き合い、マニュアルではない、一人ひとりにとって最善の治療法を提案している。

丁寧な指導と朗らかな人柄には院内外より定評があり、男性の美容意識の変革を担うパイオニアとしてテレビ番組や雑誌ほかメディア出演も多数。私生活では二児の父で愛妻家。サイクル業界にも詳しく片道 20km 程度を自転車通勤するほどロードバイク愛好家でもある。
所属学会：日本形成外科学会、日本美容外科学会（JSAPS・JSAS）、日本美容皮膚科学会、日本臨床毛髪学会

2026 年 11 月 25 日
『ゴリラクリニック』（03-5291-5270　広報部）

■男性専門の総合美容医療『ゴリラクリニック』（https://gorilla.clinic/）



◎診療科目　：美容皮膚科、美容整形、頭髪外来
◎初診専用無料ダイヤル：0120-987-118
◎診療時間　： 11:00～20:00（不定休、予約制）
———

2014 年 10 月創業。「男性美容を文化に」を使命に掲げ、全国に 23 院を展開（2026 年 11 月現在）。男性専門の総合美容クリニック（医療機関）として医療用レーザーを使用した「永久脱毛」を始め、スキンケア治療やニキビ（跡）治療、薄毛・AGA 治療、医療痩身やスメルケアほか多治療を展開。男性美容に関するありとあらゆる要望を美容医療の力でサポートしている。
また創業当初より細部に至るまで【男性志向】を追求し男性スタッフも多く採用。どのような悩みに対しても男性が恥ずかしがることなく相談できるような環境づくりを徹底している。

■美容の、その先まで

私たちが提供するのは、単に見た目を整えることではありません。見た目が変わることで生まれる「揺るぎない自信」です。

自分に自信を持てるようになれば、顔つきが変わり、行動が変わり、人生そのものが前向きに動き出す。その確信こそが、生き抜くための本当の力になると私たちは信じています。

見た目を変える一歩に、年齢も職業も関係ない。自分の理想へ向かって胸を張って生きられるように。
私たちは、すべての男性の生き方に寄り添い続けます。



プレスリリースに関するお問合せやご取材、施術の体験希望は
下記までお問合せください

広報部　：　鈴木　辻　下谷
TEL：03-5291-5270　MAIL：pr@gorilla.clinic
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12　新宿ラムダックスビル 3 階